

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	久喜店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	年間の燃料使用量からCO2排出量を算出し、削減目標を定めて取り組んでいる。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画書等を提出している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	東京本社にてISO14001を取得している。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	サービスセンターを拠点にして台車や自転車などを使った集配を行うことでトラックの使用を抑える。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	集荷締め切り時間の設定。定刻での路線便出発。			○	○	○
06	その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()	各地域で集荷した荷物を大型集約施設に集約し、行き先ごとにまとめて輸送するシステムを構築、トラックの使用台数を削減し、CO2排出抑制や大気汚染防止につなげている。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	CNG(天然ガス)トラックやハイブリッドトラック、電気自動車といった環境対応車の導入を進めている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコ(環境)と安全を一体とした運転方法「エコ安全ドライブ7カ条」に基づく指導を徹底し、交通事故発生率の減少と環境負荷低減に努めている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車両の安全運転、CO2排出低減のため、ドライバーの日々の運転行為についても徹底した指導を行っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	佐川急便では、アイドリングストップを全車両で実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	佐川急便では、トラックによる長距離貨物輸送を、大量輸送が可能でCO2排出量が少ない列車や船の輸送などに切り替える「モーダルシフト」を積極的に推進している。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	久喜店			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進			自転車運転時の注意点、道交法の改正等、ポスターや社内報で適宜周知している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の美化清掃、維持	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	更衣室の美化清掃、維持	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	2020年度よりテレワーク制度を導入。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	越谷営業所		
取組措置	具体的取組措置		R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	年間の燃料使用量からCO2排出量を算出し、削減目標を定めて取り組んでいる。		○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画書等を提出している。		○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	東京本社にてISO14001を取得している。		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>サービスセンターを拠点にして台車や自転車などを使った集配を行うことでトラックの使用を抑える。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>集荷締め切り時間の設定。定刻での路線便出発。</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<p>各地域で集荷した荷物を大型集約施設に集約し、行き先ごとにまとめて輸送するシステムを構築、トラックの使用台数を削減し、CO2排出抑制や大気汚染防止につなげている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>CNG(天然ガス)トラックやハイブリッドトラック、電気自動車といった環境対応車の導入を進めている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコ(環境)と安全を一体とした運転方法「エコ安全ドライブ7カ条」に基づく指導を徹底し、交通事故発生率の減少と環境負荷低減に努めている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車両の安全運転、CO2排出低減のため、ドライバーの日々の運転行為についても徹底した指導を行っている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>佐川急便では、アイドリングストップを全車両で実施している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	佐川急便では、トラックによる長距離貨物輸送を、大量輸送が可能でCO2排出量が少ない列車や船の輸送などに切り替える「モーダルシフト」を積極的に推進している。	○	○	○
----------------------------------	---	---	---	---

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	佐川急便株式会社		事業所名	越谷営業所		
取組措置	具体的取組措置		R3	R4	R5	
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	自転車運転時の注意点、道交法の改正等、ポスターや社内報で適宜周知している。		○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の美化清掃、維持		○	○	○	
03 自転車への転換の推進 (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	更衣室の美化清掃、維持		○	○	○	
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 (04) テレワーク制度の導入	2020年度よりテレワーク制度を導入。		○	○	○	

《 1 大規模荷主 》

事業者名	佐川急便株式会社		事業所名	さいたま営業所		
取組措置	具体的取組措置		R3	R4	R5	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出</p>	<p>年間の燃料使用量からCO2排出量を算出し、削減目標を定めて取り組んでいる。</p>	○	○	○
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認</p>	<p>埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画書等を提出している。</p>	○	○	○
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>東京本社にてISO14001を取得している。</p>	○	○	○
<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>サービスセンターを拠点にして台車や自転車などを使った集配を行うことでトラックの使用を抑える。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>集荷締め切り時間の設定。定刻での路線便出発。</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()</p>	<p>各地域で集荷した荷物を大型集約施設に集約し、行き先ごとにまとめて輸送するシステムを構築、トラックの使用台数を削減し、CO2排出抑制や大気汚染防止につなげている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>CNG(天然ガス)トラックやハイブリッドトラック、電気自動車といった環境対応車の導入を進めている。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコ(環境)と安全を一体とした運転方法「エコ安全ドライブ7カ条」に基づく指導を徹底し、交通事故発生率の減少と環境負荷低減に努めている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車両の安全運転、CO2排出低減のため、ドライバーの日々の運転行為についても徹底した指導を行っている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	佐川急便では、アイドリングストップを全車両で実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ----- ()	佐川急便では、トラックによる長距離貨物輸送を、大量輸送が可能でCO2排出量が少ない列車や船の輸送などに切り替える「モーダルシフト」を積極的に推進している。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	さいたま営業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	自転車運転時の注意点、道交法の改正等、ポスターや社内報で適宜周知している。	○	○	○			
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の美化清掃、維持	○	○	○			

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 （03） 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	更衣室の美化清掃、維持	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 （04） テレワーク制度の導入	2020年度よりテレワーク制度を導入。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	西埼玉営業所	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 （01） 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	年間の燃料使用量からCO2排出量を算出し、削減目標を定めて取り組んでいる。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 （01） 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画等を提出している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 （02） 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	東京本社にてISO14001を取得している。			○	○	○	
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 （ ）	サービスセンターを拠点にして台車や自転車などを使った集配を行うことでトラックの使用を抑える。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>集荷締め切り時間の設定。定刻での路線便出発。</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組</p> <p>()</p>	<p>各地域で集荷した荷物を大型集約施設に集約し、行き先ごとにまとめて輸送するシステムを構築、トラックの使用台数を削減し、CO2排出抑制や大気汚染防止につなげている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>CNG(天然ガス)トラックやハイブリッドトラック、電気自動車といった環境対応車の導入を進めている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコ(環境)と安全を一体とした運転方法「エコ安全ドライブ7カ条」に基づく指導を徹底し、交通事故発生率の減少と環境負荷低減に努めている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車両の安全運転、CO2排出低減のため、ドライバーの日々の運転行為についても徹底した指導を行っている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>佐川急便では、アイドリングストップを全車両で実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進</p> <p>()</p>	<p>佐川急便では、トラックによる長距離貨物輸送を、大量輸送が可能でCO2排出量が少ない列車や船の輸送などに切り替える「モーダルシフト」を積極的に推進している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	佐川急便株式会社	事業所名	西埼玉営業所		
取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
03	自転車への転換の推進	自転車運転時の注意点、道交法の改正等、ポスターや社内報で適宜周知している。	○	○	○
(01)	自転車の安全利用の促進				
03	自転車への転換の推進	駐輪場の美化清掃、維持	○	○	○
(02)	利用しやすい駐輪場の設置・維持管理				
03	自転車への転換の推進	更衣室の美化清掃、維持	○	○	○
(03)	駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理				
04	その他マイカー通勤を削減するための取組	2020年度よりテレワーク制度を導入。	○	○	○
(04)	テレワーク制度の導入				